



Expanding circle of international exchange.

In the face of internationalization, Japan is opening its market for the third time in various fields at a dizzying rate. Keeping ahead of the times, we have emphasized expanding foreign language education and international exchange.



▲88ヘンダーソンビル市公式訪問団

日本は今、「第三の開国」と言われるほどあらゆる分野で、しかも、目まぐるしい勢いで国際化が進展しています。本市では時代に先駆けて、外国語教育の充実、まちを上げての国際交流に努めてきました。

広がる国際交流の輪

●英語教育を異文化体験の現場に

国際化の進展が著しい昨今、一社会人としても外国語の素養が求められる時代になりました。中でも国際語の代表的役割を担う英語は、その重要性が高まる一方です。わたしたちは、アメリカの姉妹都市ヘンダーソンビル市との交流を深める中で、テネシー州より英語指導手を招き市内3中学校の英語教育のレベルアップを図るとともに、市民向け初級英会話教室を開くなど、英語学習を異文化交流の貴重な体験現場とし、国際化に対する認識の一助になれば、と努めています。

●姉妹都市ヘンダーソンビル

アメリカ合衆国・テネシー州ヘンダーソンビル市は、オールド・ヒッコリー湖岸にある美しい街です。この街と都留市が姉妹都市になったのは昭和58年、出会いはさらに3年ほど遡ります。ヘンダーソンビル市にある「テネシー文化使節団」という民間団体が来日し、都留市を訪れたのは54年ですから、すでに10年ほどのお付き合いになるわけです。

テネシー州は、全米の中でも日本企業の誘

致にもっとも熱心な州の一つで、大手自動車メーカーをはじめ数多くの日本企業が進出し、経済、産業面での交流も盛んな土地柄です。姉妹都市ヘンダーソンビル市との交流は、いまや両市にとってかけがえのない文化事業となつていきます。

●国際交流から人的交流へ

政府、自治体レベルの国際交流から、市民レベルの交流へ。昭和62年、都留ヘンダーソンビル友好委員会と都留青年会議所の共催により「ちびっ子海外親善使節団」がヘンダーソンビル市を訪問、同市の家庭にホームステイをしながら交流を深めてきました。また、翌63年にはヘンダーソンビル市の市長をはじめとする公式訪問団が都留市を訪れ、やはり市内の家庭にホームステイをしながら相互の交流を深めるとともに、今後、2年に1度定期交流することなどが確認されました。こうした国際的交流によって、市民の国際感覚がより一層育まれグローバルな人の輪が形成されることが期待されています。

